【基本情報】

教　　科	探究	学　年	２年	教科書	なし
科　　目	課題探究	単位数 (年間予定コマ数)	２ (64)	副教材	なし
科 目 概 要	１年次で実施した「探究基礎」をもとに，自らテーマを設定して探究活動を理数科・普通科共通して行う。				
到 達 目 標	・課題に対して自律的に調査研究活動を行い、結論を導き出すことができる。 ・仲間と協働して活動し、全体に対して発表することができる。 ・				
授業の進め方	・自ら設定した研究テーマに基づいてグループで探究活動を行う。				
留 意 事 項	・グループ内での活動を重視し、お互いに協力して活動する。 ・グループにかかわらず、積極的に意見を交わしたり議論をする。				
家 庭 学 習	・研究を進めるに当たって、必要な情報や資料を積極的に収集し、大学や専門機関と積極的に連携することを推奨する。 ・研究成果を学会や科学コンテスト等，外部で発表することを推奨する				
備　　考	普通科はクラスに関わらず、共通したテーマでグループを作り活動する。 理数科は理数に関わるテーマで「ＳＳ研究Ⅱ」と連携しながら独自のグループで活動する。				

【評価の方法】

観　点	ポイント	割　合	評価項目
Ａ．探究する力	物事の中から問題を見いだし、解決方法を探して計画を立てようとしている。	２５％	毎回の授業における活動を評価する。 授業ごとに提出する「リサーチノート」を評価する。 アドバイザー面談で研究の進捗状況を確認し，研究内容を評価する。 ポスターや個人論文など，成果物を評価する。 発表会において，発表内容とその表現を評価する
Ｂ．対話する力	情報をもとに自分の考えを形成し、文章や発話によって表現しようとしている。	２５％	
Ｃ．協働して創り出す力	思いや考えをもとに構成し、個人や集団としての考えを形成しようとしている。	２５％	
Ｄ．自律して活動する心	互いの考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解しようとしている。	２５％	

【年間計画】

単　元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
課題探究 調査・研究活動	３２	グループごとに自ら設定したテーマについて調査研究活動を行う。 校外におけるフィールドワークや，調査活動を行う	○	○	○	○	設定したテーマに基づいて、探究活動を行う。 グループで協働して計画的に研究を進める。 （コーディネーターによる活動評価 　アドバイザーによるリサーチノートの評価）
アドバイザー面談	６	アドバイザーとの面談を通して、研究の進捗状況を確認する。研究の方法等を修正・改善しする。	○	○	○	○	アドバイザーとの面談において、研究グループの全員が研究内容と進捗状況、今後の見通しについて説明することができる。
大学模擬講義	４	分野に分かれ大学の講義を受講する。その内容をグループで共有する	○	○	○	○	大学の講義を受講することで、より専門的な研究手法を学ぶとともに、研究課題に対して新たな視点をもつ
中間報告会・発表会準備 個人論文作成	１０	研究テーマをもとに個人論文、発表用のポスターまたはプレゼンテーションを作成する。	○	○	○	○	研究内容を論理的に分析し論文にまとめる。 「伝える」ことを意識したポスターやプレゼンテーションを作成する。 （作成した個人論文、ポスター、プレゼンテーションの評価）
発表会	１２	中間報告会・課題探究発表会において研究発表および議論を行う。	○	○	○	○	自らの発表をしっかり行うとともに、他の発表に対して積極的に理解しようとし要点を整理し、議論することができる。 （教員による発表の評価、生徒相互評価）